

共通仕様書 土木工事編 ・訂正対比表

頁	項目	訂 正 前	訂 正 後
26	第1編第1章 総 則 第1節 総 則	<p>1 - 1 - 25 工事完成検査</p> <p style="text-align: center;">~ 略 ~</p> <p>2. 請負者は、工事完成届提出時及び監督員が指示した時に、次の資料及び記 録を整備し、監督員に提出しなければならない。</p> <p>(1) 出来形図 (2) 施工管理の結果資料 出来形管理 品質管理 工事写真</p>	<p>1 - 1 - 25 工事完成検査</p> <p style="text-align: center;">~ 略 ~</p> <p>2. 請負者は、工事完成届提出時及び監督員が指示した時に、次の資料及び記 録を整備し、監督員に提出しなければならない。</p> <p>(1) <u>竣工図</u> (2) 施工管理の結果資料 出来形管理 品質管理 工事写真</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>提出書類を、平成21年3月27日付け20企技第2081号で通知した提出書類削減の表現に合わせ「竣工図」とするもの。 なお、竣工図は図面タイトルの上部に「竣工図」と記載するか、又はスタンプを押すのみとする。(社判の押印は不要)</p> </div>
68	第1編第2章 土工 第4節 道路土工	<p>2 - 4 - 4 路床盛土工</p> <p style="text-align: center;">~ 略 ~</p> <p>18. 路床最終仕上後、全幅、全区間についてプルフローリングを行い、監督員の確認を受けなければならない。たわみ量により十分な路床支持力が得られないと判断された場合は、監督員の指示により適切に処置しなければならない。</p> <p>なお、歩道、路肩及び取付坂路等のプルフローリングは、監督員の承諾を得て省略することができるものとする。</p>	<p>2 - 4 - 4 路床盛土工</p> <p style="text-align: center;">~ 略 ~</p> <p>18. 路床最終仕上後、全幅、全区間についてプルフローリングを行い、監督員の確認を受けなければならない。たわみ量により十分な路床支持力が得られないと判断された場合は、監督員の指示により適切に処置しなければならない。<u>この場合、プルフローリングに使用する車輛のタイヤ接地圧は、3.5kgf/cm2以上でなければならない。</u>なお、歩道、路肩及び取付坂路等のプルフローリングは、監督員の承諾を得て省略することができるものとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>プルフローリングのタイヤ接地圧 記載漏れを追加</p> </div>

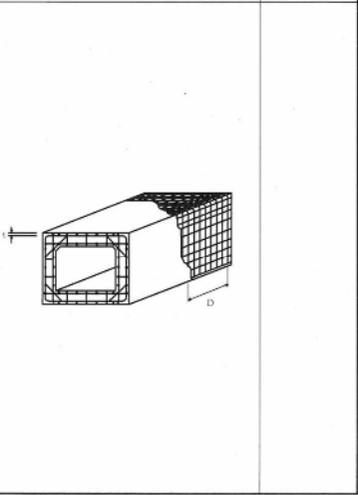
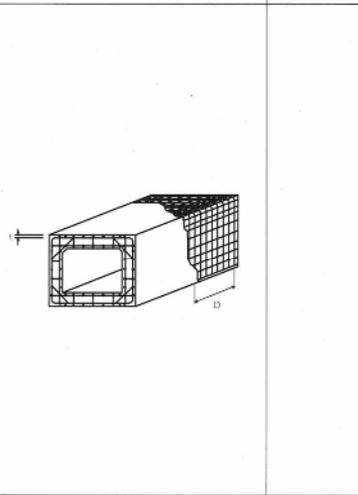
共通仕様書 土木工事編 ・訂正対比表

頁	項目	訂正前	訂正後																																																																																																																																																										
131	第2編第2章 土木工事材料 第8節 瀝青材料	<p>2 - 8 - 1 一般瀝青材料</p> <p style="text-align: center;">表2-19 ポリマー改質アスファルトの標準的性状</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">種類 付加記号</th> <th colspan="2">I型</th> <th colspan="2">II型</th> <th colspan="2">III型</th> <th colspan="2">IV型</th> </tr> <tr> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟化点</td> <td>℃</td> <td>50.0以上</td> <td>56.0以上</td> <td>70.0以上</td> <td>70.0以上</td> <td>70.0以上</td> <td>70.0以上</td> <td>80.0以上</td> <td>80.0以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伸度</td> <td>(7℃) cm</td> <td>30以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(15℃) cm</td> <td>5.0以上</td> <td>30以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タフネス (25℃)</td> <td>N・m</td> <td>2.5以上</td> <td>8.0以上</td> <td>16以上</td> <td>20以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>テナシティ (25℃)</td> <td>N・m</td> <td>—</td> <td>4.0以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>粗骨材の剥離面積率</td> <td>%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5以下</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	種類 付加記号	I型		II型		III型		IV型		付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	軟化点	℃	50.0以上	56.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上	80.0以上	80.0以上	伸度	(7℃) cm	30以上	—	—	—	—	—	—	—	(15℃) cm	5.0以上	30以上	50以上	50以上	50以上	—	—	—	タフネス (25℃)	N・m	2.5以上	8.0以上	16以上	20以上	—	—	—	—	テナシティ (25℃)	N・m	—	4.0以上	—	—	—	—	—	—	粗骨材の剥離面積率	%	—	—	—	5以下	—	—	—	—	<p style="text-align: center;">表2-19 ポリマー改質アスファルトの標準的性状</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">種類 付加記号</th> <th colspan="2">I型</th> <th colspan="2">II型</th> <th colspan="2">III型</th> <th colspan="2">IV型</th> </tr> <tr> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> <th>付加記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟化点</td> <td>℃</td> <td>50.0以上</td> <td>56.0以上</td> <td>70.0以上</td> <td>70.0以上</td> <td>70.0以上</td> <td>70.0以上</td> <td>80.0以上</td> <td>80.0以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伸度</td> <td>(7℃) cm</td> <td>30以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(15℃) cm</td> <td>—</td> <td>30以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タフネス (25℃)</td> <td>N・m</td> <td>5.0以上</td> <td>8.0以上</td> <td>16以上</td> <td>20以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>テナシティ (25℃)</td> <td>N・m</td> <td>2.5以上</td> <td>4.0以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>粗骨材の剥離面積率</td> <td>%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5以下</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>型の伸度、タフネス、テナシティの訂正</p> </div>	項目	種類 付加記号	I型		II型		III型		IV型		付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	軟化点	℃	50.0以上	56.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上	80.0以上	80.0以上	伸度	(7℃) cm	30以上	—	—	—	—	—	—	—	(15℃) cm	—	30以上	50以上	50以上	50以上	—	—	—	タフネス (25℃)	N・m	5.0以上	8.0以上	16以上	20以上	—	—	—	—	テナシティ (25℃)	N・m	2.5以上	4.0以上	—	—	—	—	—	—	粗骨材の剥離面積率	%	—	—	—	5以下	—	—	—	—
項目	種類 付加記号	I型			II型		III型		IV型																																																																																																																																																				
		付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号																																																																																																																																																				
軟化点	℃	50.0以上	56.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上	80.0以上	80.0以上																																																																																																																																																				
伸度	(7℃) cm	30以上	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																				
	(15℃) cm	5.0以上	30以上	50以上	50以上	50以上	—	—	—																																																																																																																																																				
タフネス (25℃)	N・m	2.5以上	8.0以上	16以上	20以上	—	—	—	—																																																																																																																																																				
テナシティ (25℃)	N・m	—	4.0以上	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																				
粗骨材の剥離面積率	%	—	—	—	5以下	—	—	—	—																																																																																																																																																				
項目	種類 付加記号	I型		II型		III型		IV型																																																																																																																																																					
		付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号	付加記号																																																																																																																																																				
軟化点	℃	50.0以上	56.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上	80.0以上	80.0以上																																																																																																																																																				
伸度	(7℃) cm	30以上	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																				
	(15℃) cm	—	30以上	50以上	50以上	50以上	—	—	—																																																																																																																																																				
タフネス (25℃)	N・m	5.0以上	8.0以上	16以上	20以上	—	—	—	—																																																																																																																																																				
テナシティ (25℃)	N・m	2.5以上	4.0以上	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																				
粗骨材の剥離面積率	%	—	—	—	5以下	—	—	—	—																																																																																																																																																				
511	第5編第1章 築堤・護岸 第5節 法覆護岸工	<p>1 - 5 - 1 一般事項</p> <p style="text-align: center;">～ 略 ～</p> <p>6. 吹出し防止材の施工にあたっては、吹出し防止機能が損なわれないよう配置するとともに、10cm以上重ね合わせするものとする。</p>	<p style="text-align: center;">～ 略 ～</p> <p>6. <u>吸出し</u>防止材の施工にあたっては、<u>吸出し</u>防止機能が損なわれないよう配置するとともに、10cm以上重ね合わせするものとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>誤記を修正した。</p> </div>																																																																																																																																																										

共通仕様書 土木工事編 ・訂正対比表

頁	項目	訂 正 前	訂 正 後
48	第1編第1章 総 則 第1節 総 則	<p>1 - 1 - 48 建設機械</p> <p style="text-align: center;">~ 略 ~</p> <p><u>4. 排出ガス対策型建設機械の使用にあたっては、施工現場において使用する排出ガス対策型建設機械による施工が確認できる写真等を整備し監督員の求めに対し提示すること。</u></p>	<p>1 - 1 - 48 建設機械</p> <p style="text-align: center;">~ 略 ~</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">4. 削除</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4. の削除</p> <p>平成21年3月27日付けで削除通知したところであり、誤記載のため項目を削除。</p> </div>

共通仕様書 土木工事編 ・訂正対比表

頁	項目	訂正前	訂正後																																																																
37	土木工事施工管理基準及び規格値	<p>1 - 3 - 7 - 4 組立て</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $d = \frac{D}{n-1}$ <p>D : n 本間の延長 n : 10 本程度とする φ : 鉄筋径</p> <p>工事の規模に応じて、1 リフト、1 ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（構造性能照査編 9.2）参照</p> <p>注1）重要構造物かつ主鉄筋について適用する。 注2）橋梁コンクリート床版桁（PC 橋含む）の鉄筋については、3-3-4-12 床版・横組工を適用する。</p> <p>注3）新設のコンクリート構造物（橋梁上部・下部工）の鉄筋の配筋状態及びかぶりについては「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領（案）」を適用する。</p> </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $d = \frac{D}{n-1}$ <p>D : n 本間の延長 n : 10 本程度とする φ : 鉄筋径</p> <p>工事の規模に応じて、1 リフト、1 ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（構造性能照査編 9.2）参照</p> <p>注1）重要構造物かつ主鉄筋について適用する。 注2）橋梁コンクリート床版桁（PC 橋含む）の鉄筋については、3-3-4-12 床版・横組工を適用する。</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">注3）削除</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">注3)の削除</p> <p style="text-align: center;">平成20年12月25日付けで削除通知したところであり、誤記載のため項目を削除。</p> </div> 																																																																
114	土木工事施工管理基準及び規格値	<p>3 - 2 - 3 - 1 - 2 浚渫船運転工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 20%;">浚渫船運転工 (グラブ船)</td> <td style="width: 15%;">基準高▽</td> <td style="width: 15%;">上限 +200</td> </tr> <tr> <td>土木工事</td> <td>共通</td> <td>海岸</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>施工</td> <td>関係</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>延長</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	3	1	2	浚渫船運転工 (グラブ船)	基準高▽	上限 +200	土木工事	共通	海岸				幅	-200	工事	施工	関係				延長	-200	共通								<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 20%;">浚渫船運転工 (グラブ船) (バックホウ浚渫船)</td> <td style="width: 15%;">基準高▽</td> <td style="width: 15%;">上限 +200</td> </tr> <tr> <td>土木工事</td> <td>共通</td> <td>海岸</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>施工</td> <td>関係</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>延長</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>バックホウ浚渫船の記載を追加</p> </div>	3	2	3	1	2	浚渫船運転工 (グラブ船) (バックホウ浚渫船)	基準高▽	上限 +200	土木工事	共通	海岸				幅	-200	工事	施工	関係				延長	-200	共通							
3	2	3	1	2	浚渫船運転工 (グラブ船)	基準高▽	上限 +200																																																												
土木工事	共通	海岸				幅	-200																																																												
工事	施工	関係				延長	-200																																																												
共通																																																																			
3	2	3	1	2	浚渫船運転工 (グラブ船) (バックホウ浚渫船)	基準高▽	上限 +200																																																												
土木工事	共通	海岸				幅	-200																																																												
工事	施工	関係				延長	-200																																																												
共通																																																																			

共通仕様書 土木工事編 ・訂正対比表

頁	項目	訂正前	訂正後																																																																		
241	品質管理基準及び規格値	<p>1 セメントコンクリート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</td> <td style="width: 40%;"> JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (鋼スラグ細骨材) </td> <td style="width: 30%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (鋼スラグ細骨材)	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</td> <td style="width: 40%;"> JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011 1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (鋼スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コケート用再生骨材H) </td> <td style="width: 30%; text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> JISの記載もれを追加 </div>	工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011 1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (鋼スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コケート用再生骨材H)	○																																																												
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (鋼スラグ細骨材)	○																																																																			
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011 1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (鋼スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コケート用再生骨材H)	○																																																																			
278 279	品質管理基準及び規格値	<p>9 転圧コンクリート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 10%;">9 転圧コンクリート</td> <td style="width: 10%;">材</td> <td style="width: 10%;">その他</td> <td style="width: 20%;">モルタルの圧縮強度による砂の試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 5308の附属書3</td> <td style="width: 30%;">圧縮強度の90%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>骨材中の粘土塊量の試験</td> <td>JIS A 1137</td> <td>細骨材：1.0%以下 粗骨材：0.25%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>骨材中の比重1.95の液体に浮く粒子の試験</td> <td>JIS A 5308の附属書2</td> <td>0.6%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験</td> <td>JIS A 1122 JIS A 5005</td> <td>細骨材：10%未満 粗骨材：12%以下</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">試料となる砂の上部における溶液の色が標準溶液の色より濃い場合。</td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>工事開始前、材料の変更時</td> <td>観察で問題なければ省略できる。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>工事開始前、材料の変更時</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>工事開始前、材料の変更時</td> <td>寒冷地で凍結のおそれのある地点に適用する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	9 転圧コンクリート	材	その他	モルタルの圧縮強度による砂の試験	JIS A 5308の附属書3	圧縮強度の90%以上				骨材中の粘土塊量の試験	JIS A 1137	細骨材：1.0%以下 粗骨材：0.25%以下				骨材中の比重1.95の液体に浮く粒子の試験	JIS A 5308の附属書2	0.6%以下				硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122 JIS A 5005	細骨材：10%未満 粗骨材：12%以下	試料となる砂の上部における溶液の色が標準溶液の色より濃い場合。		○	工事開始前、材料の変更時	観察で問題なければ省略できる。	○	工事開始前、材料の変更時		○	工事開始前、材料の変更時	寒冷地で凍結のおそれのある地点に適用する。	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 10%;">9 転圧コンクリート</td> <td style="width: 10%;">材</td> <td style="width: 10%;">その他</td> <td style="width: 20%;">モルタルの圧縮強度による砂の試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 5308の附属書3</td> <td style="width: 30%;">圧縮強度の90%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>骨材中の粘土塊量の試験</td> <td>JIS A 1137</td> <td>細骨材：1.0%以下 粗骨材：0.25%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験</td> <td>JIS A 1122 JIS A 5005</td> <td>細骨材：10%未満 粗骨材：12%以下</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">試料となる砂の上部における溶液の色が標準溶液の色より濃い場合。</td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>工事開始前、材料の変更時</td> <td>観察で問題なければ省略できる。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>工事開始前、材料の変更時</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>工事開始前、材料の変更時</td> <td>寒冷地で凍結のおそれのある地点に適用する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 他のコンクリートと合わせ試験項目を削除 </div>	9 転圧コンクリート	材	その他	モルタルの圧縮強度による砂の試験	JIS A 5308の附属書3	圧縮強度の90%以上				骨材中の粘土塊量の試験	JIS A 1137	細骨材：1.0%以下 粗骨材：0.25%以下				硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122 JIS A 5005	細骨材：10%未満 粗骨材：12%以下	試料となる砂の上部における溶液の色が標準溶液の色より濃い場合。		○	工事開始前、材料の変更時	観察で問題なければ省略できる。	○	工事開始前、材料の変更時		○	工事開始前、材料の変更時	寒冷地で凍結のおそれのある地点に適用する。	○
9 転圧コンクリート	材	その他	モルタルの圧縮強度による砂の試験	JIS A 5308の附属書3	圧縮強度の90%以上																																																																
			骨材中の粘土塊量の試験	JIS A 1137	細骨材：1.0%以下 粗骨材：0.25%以下																																																																
			骨材中の比重1.95の液体に浮く粒子の試験	JIS A 5308の附属書2	0.6%以下																																																																
			硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122 JIS A 5005	細骨材：10%未満 粗骨材：12%以下																																																																
試料となる砂の上部における溶液の色が標準溶液の色より濃い場合。		○																																																																			
工事開始前、材料の変更時	観察で問題なければ省略できる。	○																																																																			
工事開始前、材料の変更時		○																																																																			
工事開始前、材料の変更時	寒冷地で凍結のおそれのある地点に適用する。	○																																																																			
9 転圧コンクリート	材	その他	モルタルの圧縮強度による砂の試験	JIS A 5308の附属書3	圧縮強度の90%以上																																																																
			骨材中の粘土塊量の試験	JIS A 1137	細骨材：1.0%以下 粗骨材：0.25%以下																																																																
			硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122 JIS A 5005	細骨材：10%未満 粗骨材：12%以下																																																																
試料となる砂の上部における溶液の色が標準溶液の色より濃い場合。		○																																																																			
工事開始前、材料の変更時	観察で問題なければ省略できる。	○																																																																			
工事開始前、材料の変更時		○																																																																			
工事開始前、材料の変更時	寒冷地で凍結のおそれのある地点に適用する。	○																																																																			

共通仕様書 土木工事編 ・訂正対比表

頁	項目	訂正前	訂正後						
293	品質管理基準及び規格値	<p>1 6 吹付工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: small;">工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</td> <td style="width: 40%; font-size: small;"> JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) </td> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">○</td> </tr> </table>	工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材)	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: small;">工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</td> <td style="width: 40%; font-size: small;"> JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コクリト用再生骨材H) </td> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">○</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> JISの記載もれを追加 </div>	工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コクリト用再生骨材H)	○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材)	○							
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コクリト用再生骨材H)	○							
297	品質管理基準及び規格値	<p>1 7 現場吹付法砕工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: small;">工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</td> <td style="width: 40%; font-size: small;"> JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) </td> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">○</td> </tr> </table>	工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材)	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: small;">工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</td> <td style="width: 40%; font-size: small;"> JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コクリト用再生骨材H) </td> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">○</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> JISの記載もれを追加 </div>	工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コクリト用再生骨材H)	○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材)	○							
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コクリト用再生骨材H)	○							
317	品質管理基準及び規格値	<p>2 2 覆工コンクリート(NATM)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: small;">工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</td> <td style="width: 40%; font-size: small;"> JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) </td> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">○</td> </tr> </table>	工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材)	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: small;">工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</td> <td style="width: 40%; font-size: small;"> JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コクリト用再生骨材H) </td> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">○</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> JISの記載もれを追加 </div>	工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コクリト用再生骨材H)	○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材)	○							
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コクリト用再生骨材H)	○							

共通仕様書 土木工事編 訂正対比表

訂正前

訂正後

頁 356 項目 7. 建設リサイクルガイドライン

様式が改正されたため(担当:建築指導課 指導審査担当)
 なお、様式は県のホームページからダウンロードできます。
<http://www.pref.fukushima.jp/kenchiku/data/shido/shi/risaikuruhou/risaikuruhou.htm>

7. 建設リサイクルガイドライン
 別表1 (A4)
 建築物に係る解体工事

分別解体等の計画等

建築物の構造※	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> その他()		
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 年、棟数 棟	
	周辺状況	その他()	
	作業場所の状況	周辺にある施設 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他()	
	搬出経路の状況	敷地境界との最短距離 約 m	
	搬出経路の状況	その他()	
工事着手前に実施する措置の内容	残存物品の有無		
	付着物の有無		
	その他()		
	作業場所の確保		
	搬出経路の確保		
残存物品の搬出の態勢			
その他()			
工事着手の時期※	平成 年 月 日		
工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分 別 解 体 等 の 方 法
	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 <input type="checkbox"/> 併用の場合の理由()
	②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 <input type="checkbox"/> 併用の場合の理由()
	③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
その他()	その他の取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序	<input type="checkbox"/> 上の工程における①→②→③→④の順序 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他の場合の理由()		
建築物に用いられた建設資材の量の見込み※	トン		
廃棄物発生見込み量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分	種 別	量の見込み
		トン	発生が見込まれる部分(注)
		トン	① ② ③ ④ ⑤
		トン	① ② ③ ④ ⑤
備考	①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他		

※以外の事項は法第9条第2項の基準に適合するものでなければなりません。
欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

建築物に係る解体工事

分別解体等の計画等

建築物の構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> その他()		
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 年、棟数 棟	
	周辺状況	その他()	
	周辺にある施設	<input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他()	
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	敷地境界との最短距離	約 m	
	その他()		
	建築物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所	作業場所 <input type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他()	
	搬出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 m 通学路 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他()	
工事着手前に実施する措置の内容	残存物品	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無	
	特定建設資材への付着物	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無	
	その他		
工 程	作 業 内 容	分 別 解 体 等 の 方 法	
①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()	
②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()	
③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
⑤その他	その他の取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序	<input type="checkbox"/> 上の工程における①→②→③→④の順序 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他の場合の理由()		
建築物に用いられた建設資材の量の見込み※	トン		
廃棄物発生見込み量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分	種 別	量の見込み
		トン	発生が見込まれる部分(注)
		トン	① ② ③ ④ ⑤
		トン	① ② ③ ④ ⑤
備考	①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他		

○欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

共通仕様書 土木工事編 ・訂正対比表

訂正前

訂正後

頁 項目

357 7. 建設リサイクルガイドライン

7. 建設リサイクルガイドライン
別表2 (A4)
建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

分別解体等の計画等

使用する特定建設資材の種類	<input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材		
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 年、棟数 棟 その他 ()	
	周辺状況	周辺にある施設 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他 () 敷地境界との最短距離 約 m その他 ()	
	作業場所の状況		
	搬出経路の状況		
	付帯物の有無(修繕・模様替工事のみ)	その他 ()	
工事着手前に実施する措置の内容	作業場所の確保		
	搬出経路の確保		
	その他 ()		
工事着手の時期	平成 年 月 日		
工程	作業内容		
①造成等	造成等の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
③上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
④屋根	屋根の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み並びに特定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる建築物の部分	種 類	量の見込み
		<input type="checkbox"/> コンクリート塊	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤
		<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤
①造成等 ②基礎 ③上部構造部分・外装 ④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その他			
備考			

※以外の事項は法第9条第2項の基準に適合するものでなければなりません。
□欄には、該当箇所に「レ」を付すること。

様式が改正されたため(担当:建築指導課 指導審査担当)

別表2 (A4)
建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)
分別解体等の計画等

使用する特定建設資材の種類	<input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材			
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 年、棟数 棟 その他 ()		
	周辺状況	周辺にある施設 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他 () 敷地境界との最短距離 約 m その他 ()		
	作業場所	作業場所 <input type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他 ()	建築物に関する調査の結果	
	搬出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 m 通学路 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他 ()	工事着手前に実施する措置の内容	
	特定建設資材への付着物(修繕・模様替工事のみ)	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無 ()		
その他				
工程	作業内容			
①造成等	造成等の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
③上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
④屋根	屋根の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
⑥その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み並びに特定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる建築物の部分	種 類	量の見込み	
		<input type="checkbox"/> コンクリート塊	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤	
		<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤	
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤	
①造成等 ②基礎 ③上部構造部分・外装 ④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その他				
備考				

□欄には、該当箇所に「レ」を付すること。

共通仕様書 土木工事編 訂正対比表

訂正前

訂正後

頁	7. 建設リサイクルガイドライン
358	

別表3 7. 建設リサイクルガイドライン (A4) 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事(土木工事等)	<h3 style="text-align: center;">分別解体等の計画等</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">建築物の構造等</td> <td><input type="checkbox"/>鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/>その他()</td> </tr> <tr> <td>工事の種類</td> <td><input type="checkbox"/>新築工事 <input type="checkbox"/>維持・修繕工事 <input type="checkbox"/>解体工事 <input type="checkbox"/>電気 <input type="checkbox"/>水道 <input type="checkbox"/>ガス <input type="checkbox"/>下水道 <input type="checkbox"/>鉄道 <input type="checkbox"/>電話 <input type="checkbox"/>その他()</td> </tr> <tr> <td>使用する特定建設資材の種類(新築・維持・修繕工事のみ)</td> <td><input type="checkbox"/>コンクリート <input type="checkbox"/>コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/>アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/>木材</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">建築物に関する調査の結果</td> <td>工作物の状況</td> </tr> <tr> <td>周辺状況</td> </tr> <tr> <td>作業場所の状況</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工事着手前に実施する措置の内容</td> <td>搬出経路の確保</td> </tr> <tr> <td>搬出経路の確保</td> </tr> <tr> <td>工事着手の時期</td> <td>平成 年 月 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">工程ごとの作業内容及び解体方法</td> <td>工程</td> <td>作業内容</td> <td>分別解体等の方法</td> </tr> <tr> <td>①仮設</td> <td>仮設工事 <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</td> <td><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>②土工</td> <td>土工事 <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</td> <td><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>③基礎</td> <td>基礎工事 <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</td> <td><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>④本体工事</td> <td>本体構造の工事 <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</td> <td><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>⑤本体付属品</td> <td>本体付属品の工事 <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</td> <td><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>⑥その他</td> <td>その他の工事 <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</td> <td><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>工事の工程の順序(解体工事のみ)</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/>上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/>その他() その他の場合の理由()</td> </tr> <tr> <td>工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)容</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">トン</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">廃棄物発生見込量</td> <td>特定建設資材廃棄物の種類(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)</td> <td>種類</td> <td>量の見込み</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他</td> <td><input type="checkbox"/>コンクリート塊</td> <td>トン</td> <td><input type="checkbox"/>① <input type="checkbox"/>② <input type="checkbox"/>③ <input type="checkbox"/>④ <input type="checkbox"/>⑤ <input type="checkbox"/>⑥</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>アスファルト・コンクリート塊</td> <td>トン</td> <td><input type="checkbox"/>① <input type="checkbox"/>② <input type="checkbox"/>③ <input type="checkbox"/>④ <input type="checkbox"/>⑤ <input type="checkbox"/>⑥</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/>建設発生木材 トン <input type="checkbox"/>① <input type="checkbox"/>② <input type="checkbox"/>③ <input type="checkbox"/>④ <input type="checkbox"/>⑤ <input type="checkbox"/>⑥</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">※以外の事項は法第9条第2項の基準に適合するものでなければなりません。 □欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。</p>	建築物の構造等	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()	工事の種類	<input type="checkbox"/> 新築工事 <input type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()	使用する特定建設資材の種類(新築・維持・修繕工事のみ)	<input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材	建築物に関する調査の結果	工作物の状況	周辺状況	作業場所の状況	工事着手前に実施する措置の内容	搬出経路の確保	搬出経路の確保	工事着手の時期	平成 年 月 日	工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	②土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	④本体工事	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	⑥その他	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	工事の工程の順序(解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()			工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)容	トン			廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み	①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他	<input type="checkbox"/> コンクリート塊	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥	<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥	備考	<input type="checkbox"/> 建設発生木材 トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥		
建築物の構造等	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()																																																												
工事の種類	<input type="checkbox"/> 新築工事 <input type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()																																																												
使用する特定建設資材の種類(新築・維持・修繕工事のみ)	<input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材																																																												
建築物に関する調査の結果	工作物の状況																																																												
	周辺状況																																																												
	作業場所の状況																																																												
工事着手前に実施する措置の内容	搬出経路の確保																																																												
	搬出経路の確保																																																												
工事着手の時期	平成 年 月 日																																																												
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法																																																										
	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																																																										
	②土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																																																										
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																																																										
	④本体工事	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																																																										
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																																																										
	⑥その他	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																																																										
工事の工程の順序(解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()																																																												
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)容	トン																																																												
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み																																																										
	①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他	<input type="checkbox"/> コンクリート塊	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥																																																									
		<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥																																																									
備考	<input type="checkbox"/> 建設発生木材 トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥																																																												

別表3 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等) (A4) 分別解体等の計画等				
工作物の構造(解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()			
工事の種類	<input type="checkbox"/> 新築工事 <input type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()			
使用する特定建設資材の種類(新築・維持・修繕工事のみ)	<input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材			
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 年	その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他()	敷地境界との最短距離 約 _____ m その他()	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	作業場所	作業場所 <input type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他()	工事着手前に実施する措置の内容	
	搬出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 _____ m 通学路 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他()		
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無 ()		
その他				
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法(解体工事のみ)	
	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	②土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	⑥その他	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序(解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()			
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)	トン			
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み	
	①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他	<input type="checkbox"/> コンクリート塊	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
		<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
備考	<input type="checkbox"/> 建設発生木材 トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥			
備考				

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

1-1-24 社内検査

1. 社内検査に従事する者（以下「社内検査員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び検査（完成・既済部分・監督員による検査（確認を含む））の事前に社内検査を行い、その結果を所定の様式により提出しなければならない。
2. 社内検査員は、当該工事に従事していない社内の者とする。また、社内検査員は検査時（完成・既済部分・中間検査）に立会わなければならない。
3. 社内検査においては、契約図書及び関係図書に基づき、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり社内検査を行うものとする。
4. 社内検査員は10年以上の現場経験を有するものとする。
5. 社内検査員を定めた場合、施工計画書に氏名、資格、経歴等を記載し、監督員に提出しなければならない。なお、社内検査員を変更した場合も同様とする。

1-1-25 工事完成検査

1. 請負者は、約款第31条の規定に基づき、工事完成届を監督員に提出しなければならない。
2. 請負者は、工事完成届提出時及び監督員が指示した時に、次の資料及び記録を整備し、監督員に提出しなければならない。
 - (1) 竣工図
 - (2) 施工管理の結果資料
 - ① 出来形管理
 - ② 品質管理
 - ③ 工事写真
 - (3) 設計図書で指示した工事材料の試験結果及び施工立会の記録
 - (4) 上記以外の使用材料に関する資料
 - (5) 社内検査結果資料（施工確認願いで提出済みのものは除く）
 - (6) その他監督員の指示するもの
3. 請負者は、工事の完成検査に必要な次の資料及び記録を整備し、検査員に提示しなければならない。
 - (1) 各資材の受払い記録（資材納入書、伝票等）
 - (2) 工事日誌
 - (3) 産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェスト
4. 請負者は、工事完成届を監督員に提出する際には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなくてはならない。

1-1-48 建設機械

1. 一般工事

請負者は、工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、第1編1-1-37環境対策によるものとし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

2. トンネル工事

トンネル工事のトンネル坑内作業において以下に示す建設機械を使用する場合は、第1編1-1-37環境対策によるものとし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

3. 請負者は、提出する施工計画書の建設機械記入欄に、排出ガス対策型機械使用の有無を記入するとともに、添付資料として、使用する機械が排出ガス対策型機械であることを証明できる資料を提出すること。証明できる資料とは、使用する機械が、国土交通省で公表している機種一覧表に対応することがわかる資料、または車検証で排出ガス規制を受けた車種とわかる資料とする。(機種一覧表及び車検証等の写し)

4. ~~排出ガス対策型建設機械の使用にあたっては、施工現場において使用する排出ガス対策型建設機械による施工が確認できる写真等を整備し監督員の求めに対し提示すること。~~

平成22年12月 削除

5. 排出ガス対策型建設機械の指定機種等については国土交通省建設施工企画課のホームページを参考とすること。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kensetsusekou/kensetsusekou.htm>

また、型式指定を受けた建設機械の基準適合表示ラベルについては第10編参考資料第4節排出ガス対策型建設機械に関する参考資料を参考とすること。

1-1-49 仮 設

請負者は、工事施工に必要な仮設等（仮設物、工事完成工法及びこれらの維持、保守作業等を総称する）は設計図書に指定されたものを除き、請負者の責任において選択するものとする。この場合、特に監督員が必要と認めて指示する仮設物等については応力計算を行って資料等を提出しなければならない。施工完了後は、契約に基づき存置するものの他は撤去しなければならない。

1-1-50 臨機の措置

1. 請負者は、災害防止等のため必要があると認めるときは、臨機の措置をとらなければならない。また、請負者は、措置をとった場合には、その内容をすみやかに監督員に報告しなければならない。

ないと判断された場合は、監督員の指示により適切に処置しなければならない。この場合、プルフローリングに使用する車輛のタイヤ接地圧は、 $3.5\text{kgf}/\text{cm}^2$ 以上でなければならない。なお、歩道、路肩及び取付坂路等のプルフローリングは、監督員の承諾を得て省略することができるものとする。

19. 現場密度の測定について、試験回数は品質管理基準によるが、炉乾燥法（JIS A 1214又はJIS A 1210A・B法又は舗装調査・試験法便覧〔4〕-191による試験方法）による場合は、迅速に現場密度の適否を判断するための補助試験として、強制乾燥法による試験を最低1回以上併用して行うこととする。強制試験法による試験は監督員の立会いにより行うものとする。
20. 請負者は、土羽土の施工にあたり、法面浸食のおそれのない粘着性のある材料を使用しなければならない。

2-4-5 法面整形工

1. 請負者は、掘削（切土）部法面整形の施工にあたり、ゆるんだ転石、岩塊等は、落石等の危険のないように取り除かなければならない。なお、浮石が大きく取り除くことが困難な場合には、監督員に報告し、協議しなければならない。
2. 請負者は、盛土部法面整形の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないように締固めを行わなければならない。

2-4-6 作業残土処理工（残土処理工）

残土処理工については、第1編2-3-7残土処理工の規定によるものとする。

第8節 瀝青材料

2-8-1 一般瀝青材料

1. 舗装用石油アスファルトは、表2-15の規格に適合するものとする。
2. ポリマー改質アスファルトは、表2-19の性状に適合するものとする。また、請負者は、プラントミックスタイプについては、あらかじめ使用する舗装用石油アスファルトに改質材料を添加し、その性状が表2-19に示す値に適合していることを確認しなければならない。

表2-19 ポリマー改質アスファルトの標準的性状

項目	種類		I型	II型	III型		H型	
	付加記号				III型-W	III型-WF	H型-F	
軟化点	℃		50.0以上	56.0以上	70.0以上		80.0以上	
伸度	(7℃)	cm	30以上	—	—		—	—
	(15℃)	cm	-	30以上	50以上		50以上	—
タフネス (25℃)	N・m		5.0以上	8.0以上	16以上		20以上	—
テナシティ(25℃)	N・m		2.5以上	4.0以上	—		—	—
粗骨材の剥離面積率	%		—	—	—	5以下		—
フラス脆化点	℃		—	—	—	—	-12以下	-12以下
曲げ仕事量 (-20℃)	kPa		—	—	—	—	—	400以上
曲げスティフネス (-20℃)	MPa		—	—	—	—	—	100以下
針入度 (25℃)	1/10mm		40以上					
薄膜加熱質量変化率	%		0.6以下					
薄膜加熱後の針入度残留率	%		65以下					
引火点	℃		260以上					
密度 (15℃)	g/m ³		試験表に付記					
最適混合温度	℃		試験表に付記					
最適締固め温度	℃		試験表に付記					

付加記号の略字 W：耐水性 (Water resistance) F：可撓性 (Flexibility)

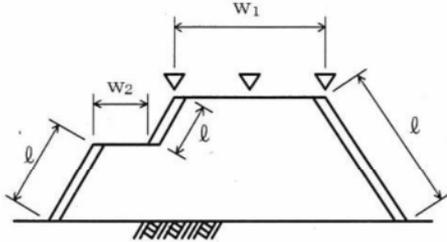
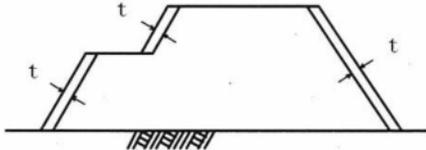
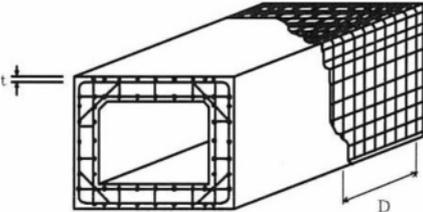
第5節 法覆護岸工

1-5-1 一般事項

1. 本節は、法覆護岸工としてコンクリートブロック工，護岸付属物工，緑化ブロック工，環境護岸ブロック工，石積（張）工，法枠工，多自然型護岸工，吹付工，植生工，覆土工，羽口工その他これらに類する工種について定めるものとする。
2. 請負者は，法覆護岸工のコンクリート施工に際して，水中打込みを行ってはならない。
3. 請負者は，法覆護岸工の施工に際して，目地の施工位置は設計図書のとおりに行わなければならない。
4. 請負者は，法覆護岸工の施工に際して，裏込め材は，締固め機械等を用いて施工しなければならない。
5. 請負者は，法覆護岸工の施工に際して，遮水シートを設置する場合は，法面を平滑に仕上げしてから布設しなければならない。また，シートの重ね合わせ及び端部の接着はずれ，はく離等のないように施工しなければならない。
6. 吸出し防止材の施工にあたっては，吸出し防止機能が損なわれないよう配置するとともに，10cm以上重ね合わせするものとする。

1-5-2 材 料

1. 遮水シートは，止水材と被覆材からなり，シート有効幅2.0mの(1)または(2)のいずれかの仕様によるものとする。
 - (1) 遮水シートAは，以下の仕様によるものとする。
 - 1) 止水材の材質は，純ポリ塩化ビニールのシボ（標準菱形）付きとし，厚さ1mmとする。
 - 2) 被覆材の材質は，補強布付き繊維性フェルトとし，厚さ10mmとする。
 - 3) 止水材の重ね幅は，15cm以上とし，端部の取付部は，20cm以上とする。
 - 4) 止水材の品質規格は表1-1によるものとする。

測定基準	測定箇所	摘要
<p>施工延長 40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。</p>		
<p>$d = \frac{D}{n-1}$</p> <p>D：n本間の延長 n：10本程度とする φ：鉄筋径</p> <p>工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶり、コンクリート標準示方書（構造性能照査編 9.2）参照</p> <p>注1）重要構造物かつ主鉄筋について適用する。 注2）橋梁コンクリート床版桁（PC橋含む）の鉄筋については、3-3-4-12床版・横組工を適用する。</p>		

土木工事施工管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
3 土木工事共通編	2 共通施工	3 海岸関係	1	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船)			上限	下限	
						基準高▽	電気船	200ps	+200	- 800
								500ps	+200	-1000
								1000ps	+200	-1200
							ディーゼル船	250ps	+200	- 800
								420ps 600ps	+200	-1000
								1350ps	+200	-1200
						幅				-200
延長				-200						
3 土木工事共通編	2 共通施工	3 海岸関係	1	2	浚渫船運転工 (グラブ船) (バックホウ浚渫船)	基準高▽		上限	+200	
						幅				-200
						延長				-200
3 土木工事共通編	2 共通施工	4 道路関係	1		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	基準高▽		±30		
						※幅	w	-50		
						※高さ	h	-30		
						延長	L	-L×0.005 かつ 200 mm		
3 土木工事共通編	2 共通施工	4 道路関係	2		落石防護柵工	高さ h		±30		
						延長 L		-200		

品質管理基準及び規格値

試験基準	摘 要	試験成績表等による確認
「アルカリ骨材反応抑制対策実施要領」による	「アルカリ骨材反応抑制対策実施要領」による	○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。		○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び碎石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4 (電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021 (コンクリート用再生骨材H)	○
工事開始前、工事中1回/年以上および産地が変わった場合。		○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。 (山砂の場合は、工事中1回/週以上)		○
工事開始前、工事中1回/年以上および産地が変わった場合。	濃い場合は、JIS A 1142「有機不純物を含む細骨材のモルタル圧縮強度による試験方法」による。	○
試料となる砂の上部における溶液の色が標準溶液の色より濃い場合。		○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。		○
工事開始前、工事中1回/年以上および産地が変わった場合。	寒冷地で凍結のおそれのある地点に適用する。	○

品質管理基準及び規格値

工 種	種別	試験 区分	試験項目	試験方法	規格値
9 転圧コンクリート	材料	その他	モルタルの圧縮強度による砂の試験	JIS A 5308の附属書3	圧縮強度の90%以上
			骨材中の粘土塊量の試験	JIS A 1137	細骨材：1.0%以下 粗骨材：0.25%以下
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122 JIS A 5005	細骨材：10%未満 粗骨材：12%以下	
		セメントの物理試験	JIS R 5201	JIS R 5210 (ポルトランドセメント) JIS R 5211 (高炉セメント) JIS R 5212 (シリカセメント) JIS R 5213 (フライアッシュセメント) JIS R 5214 (エコセメント)	
		ポルトランドセメントの化学分析	JIS R 5202	JIS R 5210 (ポルトランドセメント) JIS R 5211 (高炉セメント) JIS R 5212 (シリカセメント) JIS R 5213 (フライアッシュセメント) JIS R 5214 (エコセメント)	
		練混ぜ水の水質試験	上水道水及び上水道水以外の水の場合： JIS A 5308付属書3	懸濁物質の量：2g/l以下 溶解性蒸発残留物の量：1g/l以下 塩化物イオン量：200ppm以下 セメントの凝結時間の差：始発は30分以内、終結は60分以内 モルタルの圧縮強度比：材齢1及び28日で90%以上	
		回収水の場合： JIS A 5308付属書3	塩化物イオン量：200ppm以下 セメントの凝結時間の差：始発は30分以内、終結は60分以内 モルタルの圧縮強度比：材齢7及び28日で90%以上		
	製造（プラント）	その他	計量設備の計量精度		水：±1%以内 セメント：±1%以内 骨材：±3%以内 混和材：±2%以内 (高炉スラグ微粉末の場合は±1%以内) 混和剤：±3%以内
			ミキサの練混ぜ性能試験	バッチミキサの場合： JIS A 1119 JIS A 8603	コンクリートの練混ぜ量 公称容量の場合： コンクリート中のモルタル単位容積質量差：0.8%以下 コンクリート中の単位粗骨材量の差：5%以下 圧縮強度平均値からの差：7.5%以下 空気量平均値からの差：10%以下 スランブ平均値からの差：15%以下 公称容量の1/2の場合： コンクリート中のモルタル単位容積質量差：0.8%以下 コンクリート中の単位粗骨材量の差：5%以下

品質管理基準及び規格値

試験基準	摘 要	試験成績表等による確認
試料となる砂の上部における溶液の色が標準溶液の色より濃い場合。		○
工事開始前、材料の変更時	観察で問題なければ省略できる。	○
工事開始前、材料の変更時	寒冷地で凍結のおそれのある地点に適用する。	○
工事開始前、工事中1回/月以上		○
工事開始前、工事中1回/月以上		○
工事開始前及び工事中1回/年以上および水質が変わった場合。	上水道を使用してる場合は試験に換え、上水道を使用してることを示す資料による確認を行う。	○
工事開始前及び工事中1回/年以上および水質が変わった場合。	ただし、その原水は上水道水及び上水道水以外の水の規定に適合しなければならない。	○
工事開始前、工事中1回/6ヶ月以上	・レディーミクストコンクリートの場合、印字記録により確認を行う。	○
工事開始前及び工事中1回/年以上。	・小規模工種で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上。またレディーミクストコンクリート工場（JISマーク表示認定工場）の品質証明書等のみとすることができる。	○

品質管理基準及び規格値

試験基準	摘 要	試験成績表等による確認
「アルカリ骨材反応抑制対策実施要領」による		○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。		○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4(電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021(コンクリート用再生骨材H)	○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。 (山砂の場合は、工事中1回/週以上)		○
工事開始前、工事中1回/年以上および産地が変わった場合。	濃い場合は、JIS 5308「モルタルの圧縮強度による砂の試験」付属書3による。	○
試料となる砂の上部における溶液の色が標準色液の色より濃い場合。		○
工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。		○
工事開始前、工事中1回/年以上および産地が変わった場合。	寒冷地で凍結のおそれのある地点に適用する。	○
工事開始前、工事中1回/月以上		○
工事開始前、工事中1回/月以上		○

品質管理基準及び規格値

試験基準	摘 要	試験成績表等による確認
<p>コンクリートの打設が午前と午後にもたがる場合は、午前に1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物総量の規制値の1/2以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数は3回とする)試験の判定は3回の測定値の平均値。</p>	<p>・小規模工種で1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種1回以上。またレディーミクストコンクリート工場 (JIS表示認定工場) の品質証明書等のみとすることができる。 ・骨材で海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCE-C502、503)を監督員と協議の上また、特記仕様書の規定により行う。</p>	
<p>・圧縮強度試験用供試体採取時及び打ち込み中に品質変化が認められた場合。</p>	<p>小規模工種で1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種1回以上。またレディーミクストコンクリート工場 (JISマーク表示認定工場) の品質証明書等のみとすることができる。</p>	
<p>吹付1日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用するのと同じコンクリート (モルタル) を吹付け、現場で28日養生し、直径50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。原則として1日に3本とする。</p>	<p>小規模工種で1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種1回以上。またレディーミクストコンクリート工場 (JISマーク表示認定工場) の品質証明書等のみとすることができる。</p>	
<p>・圧縮強度試験用供試体採取時及び打ち込み中に品質変化が認められた場合。</p>	<p>小規模工種で1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種1回以上。またレディーミクストコンクリート工場 (JISマーク表示認定工場) の品質証明書等のみとすることができる。</p>	
<p>品質に異常が認められた場合に行う。</p>		
<p>「アルカリ骨材反応抑制対策実施要領」による</p>		○
<p>工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</p>		○
<p>工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</p>	<p>JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4 (電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021 (コンクリート用再生骨材H)</p>	○

品質管理基準及び規格値

試験基準	摘要	試験成績表等による確認
<p>1回3ヶ 1. 1ブロック1リフトのコンクリート量500m³未満の場合1ブロック1リフト当り1回の割で行う。なお、1ブロック1リフトのコンクリート量が150m³以下の場合及び数種のコンクリート配合から構成される場合は監督員と協議するものとする。 2. 1ブロック1リフトコンクリート量500m³以上の場合1ブロック1リフト当り2回の割で行う。なお、数種のコンクリート配合から構成される場合は監督員と協議するものとする。 3. ピア、埋設物周辺及び減勢工などのコンクリートは、打設日1日につき2回の割で行う。 4. 上記に示す基準は、コンクリートの品質が安定した場合の標準を示すものであり、打ち込み初期段階においては、2～3時間に1回の割合で行う。</p>	<p>小規模工種で1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種1回以上。またレディーミクストコンクリート工場（JISマーク表示認定工場）の品質証明書等のみとすることができる。</p>	
<p>1回供試体作成時各ブロック打込み開始時終了時。</p>		
<p>1回2ヶ 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。</p>	<p>参考値：2.3t/m³以上</p>	
<p>1回 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。</p>		
<p>1回1ヶ 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。</p>		
<p>1回3ヶ 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。</p>		
<p>1回3ヶ 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。</p>		
<p>「アルカリ骨材反応抑制対策実施要領」による</p>		○
<p>工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</p>		○
<p>工事開始前、工事中1回/月以上および産地が変わった場合。</p>	<p>JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高炉スラグ骨材) JIS A 5011-2 (フェロニッケルスラグ細骨材) JIS A 5011-3 (銅スラグ細骨材) JIS A 5011-4 (電気炉酸化スラグ細骨材) JIS A 5021 (コンクリート用再生骨材H)</p>	○
<p>工事開始前、工事中1回/年以上および産地が変わった場合。</p>		○

分別解体等の計画等

建築物の構造		<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> その他()	
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数_____年、棟数_____棟 その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他() 敷地境界との最短距離 約_____m その他()	
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 <input type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他()	
	搬出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約_____m 通学路 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他()	
	残存物品	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無	
	特定建設資材への付着物	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無	
	その他		
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑤その他()	その他の取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序		<input type="checkbox"/> 上の工程における①→②→③→④の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()	
<input type="checkbox"/> 内装材に木材が含まれる場合		①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 不可の場合の理由()	
建築物に用いられた建設資材の量の見込み		トン	
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み
		<input type="checkbox"/> コンクリート塊	トン
		<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	トン
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン
(注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他		発生が見込まれる部分(注)	
備考		<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤	

欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()	
工事の種類		<input type="checkbox"/> 新築工事 <input type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()	
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		<input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材	
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 _____ 年 その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他() 敷地境界との最短距離 約 _____ m その他()	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 <input type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他()	
	搬出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 _____ m 通学路 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他()	
	特定建設資材への付着物 (解体・維持・修繕工事のみ)	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無	
	その他		
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン	
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み
		<input type="checkbox"/> コンクリート塊	トン
		<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	トン
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他		使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	
		<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥	
備考			

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。